



2019年2月23日(土) チーム神於山 活動報告

■活動日：2019年2月23日(土) 10:00~15:00

■参加者：チーム神於山 11名

■活動内容

- ・今回は、前回の活動で準備したシイタケの楕木(ほだ木)に植菌し、竹林を整備しました。
- ・また幹事の方をお願いした五カ年計画について、意見を交換し、考え方を整理しました。
- ・シイタケ菌は、23本の楕木に植菌を終わりました。  
また当日ナメコ用のヤマザクラを含め、20本ほどの楕木を新たに準備しました。  
3月後半に植菌する予定です。  
シイタケもナメコも植菌の仕方は同じですが、ナメコは湿度が必要なので、シイタケとは違う伏せ方になります。
- ・五カ年計画は、考えて頂いた幹事の方々の方針がそれぞれ内容が有るもので、甲乙つけがたく、纏めるのは工夫が必要ですが、今後も「フクロウの棲む森づくり」を旗印に森づくりを進めることでは一致しました。  
また、限られた戦力で全ての作業を完璧にこなすのは無理があることから、例えば草刈りは、記念樹ゾーンと、暗渠ゾーンのミカンを植えたエリア以外は年1~2回に絞るなど、効率の良い進め方をすべきとの意見が出たことから、来年度は、これまでの活動実績を踏まえて年間活動計画を作り、推進することになりました。
- ・幹事の方と参加頂いた方々には、別途検討表を送りますのでご協力ください。

■シイタケの楕木(ホダギ)作り。

穴あけ・植菌・仮伏せの3工程です。



作業風景。自然に役割分担が出来ています。

- ・作業は、  
①楕木の穴開け  
②植菌(菌駒の打ち込み)  
③仮伏せ  
の3工程です。
- ・先ずドリルで直径約9mm・深さ25mm~30mmの穴を開けます。
- ・間隔は、縦方向には15~20cm、円周方向には3~4cmで、千鳥格子状に開けて行きますから、直径10cm程度の楕木の場合、30~40個の穴を開けることとなります。



穴あけ作業。ドリルは電動式あり、充電式ありで賑やかです。



植菌作業。コンコン・コンコン、木槌の音が響きます。



午前中、植菌が終って一枚。今回も発電機が活躍しました。



午後、井桁に仮伏せして一枚。皆さん“ドヤ顔”です。



- 通常植菌した楠木から収穫できるのは二夏過ぎてからですが、菌の回りが良いと、植菌した年の秋から収穫できる場合があります。
- 上の写真は、次回のために確保した楠木です。
- ナメコ用のヤマザクラも含め、20本ほどあります。
- ナメコを成功させたいですね。

## ■竹林の整備

竹フェンスを修理し、イノシシ除けの犬の毛を取り付けました。



竹フェンスの修理。枯れた竹の枝を差し込み修復しました。



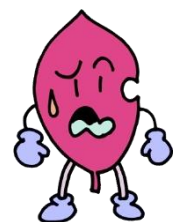
犬の毛は、イノシシ除けに効果がありますが、匂いが抜けると効果が無くなるので、付け替えが必要です。

## ■気になる木

記念樹ゾーンのヤマザクラを支えているヒノキ（多分）が枯れ始めています。



- 左の写真は、斜めに伸びたヤマザクラとそれを二股の分枝で支えているヒノキ（多分）ですが、なぜか写真の様にヒノキの幹の皮が剥がれて白くなっています。
- 頂上部分の葉は、まだ青さを保っていますが、こうなると早晩枯れそうです。
- 伐るとヤマザクラも共倒れしそうですからしばらく様子を見ることにします。



以上